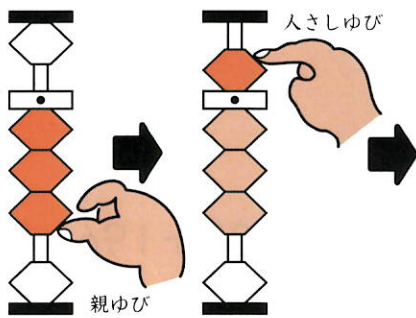


5をつくる計算



3+4

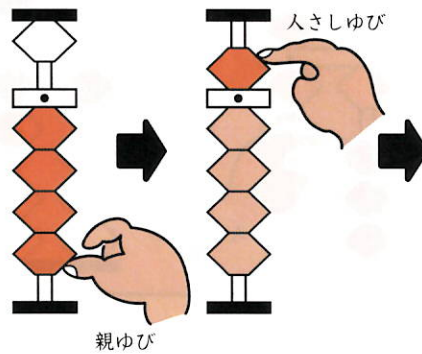
たす数4と、1とをあわせると5です。



★ 3+4のとき、5をたしました。
つぎにどうすればよいでしょう。

★ 4+4, 2+4の計算のしかたを考えましょう。

★ 4+2の計算のしかたを考えましょう。



★ 4+3, 4+1, 40+10の計算のしかたを考えましょう。

(1) 3+3

3+2

20+40

47+30

48+10

36+40

チャレンジ

123+444

444+123

5からひく計算



7-4

★ 7-4のとき、5から4をひいた1をたしました。
つぎにどうすればよいでしょう。

★ 8-4, 6-4の計算のしかたを考えましょう。

★ 7-3の計算のしかたを考えましょう。

★ 6-2, 5-1, 50-10の計算のしかたを考えましょう。

(1) $6-3$

$5-2$

$80-40$

$69-30$

$57-10$

$63-20$

チャレンジ

$765-444$

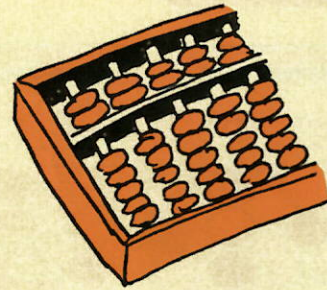
$555-123$

いろいろなそろばん いろいろな数字

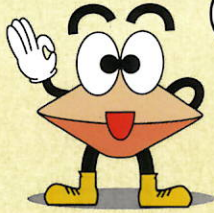
1000年くらい前、右の図のようなそろばんが中国で生まれました。

そのときのそろばんは、五だまが2こ、一だまが5こでした。

日本でも80年くらい前まで五だまが1こ、一だまが5このそろばんをつかっていました。



一だま10このそろばんもあるのかな。



ロシアにあるよ。



いろいろなそろばんを考えて、作ってみるとおもしろいかも。

中国から日本にそろばんがつたわってきたのは、500年くらい前です。

それまでは、算木さんぎという棒ぼうをならべて計算していました。算木も中国から1500年くらい前につたわってきました。算木では、つぎのように数を表します。

一 二 三 四 五 六 七 八 九
一 二 三 四 五 六 七 八 九

算木の6, 7, 8, 9は、5をひとまとめにして、棒をよこにします。6を5と1, 7を5と2で表すのは、そろばんと同じですね。

そろばんの五だまには、どんないいところがありますか。考えてみましょう。



5をひとまとめにする数の表し方は、ヨーロッパにもありました。ローマ数字といって、400年くらい前までつかっていました。

I II III IV V VI VII VIII IX X
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

アルファベットのVが5で、Xが10を表します。4は5-1, 6は5+1, 9は10-1という意味です。

今でも時計などで見かけることがあります。